



遠矚の丘

由利本荘市立子吉小学校
学校だより
第18号
令和5年1月16日発行

<教育目標>
「ふるさとを愛し
明るい未来を切り拓く
子どもの育成」
「かしこく ゆたかに たくましく」

あけまして
おめでとうございます

2023年は、うさぎ年です。うさぎは、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。他にも「植物の成長」という意味もあるなど、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。年頭に立てた1年の目標の実現に向けて、飛躍できる年でありますようお願いいたします。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。



「保護者アンケート②」へのご協力ありがとうございました。 “若干ではありますが、アップしました。”

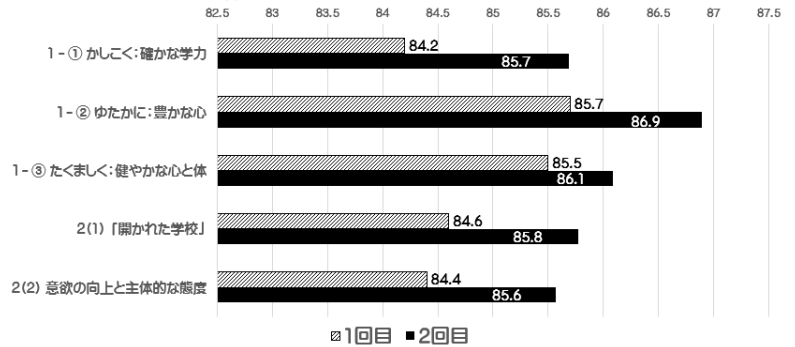
11月に実施した「保護者アンケート②」の結果がまとまりましたので、1回目の結果と比較しながらご報告させていただきます。

右のグラフに示しましたように、若干ではありますが、すべての項目について数値のアップが見られました。数値については、満点を4点として、わかりやすく示すために100点満点(4点を100点)に換算して平均を算出し、達成率(%)として示しました。

すべての項目について86%以上の結果を得ることができました。全体的に良好とは考えております。ただし、前回も申し上げましたが、2-(1)(2)の項目についての今年度の目標の数値は、昨年度(80%)よりも高い90%として設定しているため、若干課題が残る結果になってしまいました。今年度も残りわずかにはなりますが、引き続き子どもたちの主体性の育成を目指した指導に力を注いで参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

また、「3 子吉小学校の児童や学校のよさを感じること」、「4 日頃感じている改善してもらいたいこと」についてのご意見等につきましては、勝手ながら主なご意見を抜粋して掲載させていただきますことをご了承願います。特に、「4」につきましては、できる限り完全の方向で対応して参りますのでよろしくお願いいたします。

令和4年度 保護者アンケート 集計(1回目、2回目) 達成率(平均を換算)



3 子吉小学校の児童や学校のよさを感じること

- あいさつがきちんとできていて素晴らしいと思います。(多数)
- 横断歩道などできちんと会釈をしてくれる。素晴らしいと思う。(多数)
- 集団登校で上のお兄さん、お姉さんがよく面倒を見てくれていて安心します。(多数)
- ・先生方の子どもへの対応がすばらしく、感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・先生たちがとても優しく、子どもたちも毎日楽しく学校に行くことができます。
- ・小規模なため先生と子どもたちの距離が近いです。
- ・友だちが困っていたり嫌なことや何かあったときに励ましたり、優しく声をかけたりできるところが素晴らしいと思います。先生方の対応も丁寧だと思います。
- ・子どもひとりひとりが大切にされている学校だと思います。
- ・コロナ感染で学校行事が延期になってしまったりという大変な中、先生方や役員の方々がよく考えてくれたと思った1年でした。今やれることを精いっぱいやるという姿に感動しました。ありがとうございました。

4 日頃感じていることや改善してもらいたいこと

- 行事等の連絡が遅いと感じる。年間行事予定との変更が分かり次第すぐに連絡していただきたい。特に、親の参加が必要なもの。
- 長期間欠席の際の家での学習について担任から連絡がほしいです。
- 勉強が理解できていないうちに進んでしまうところが少し気になります。
- 新1年生には就学前に通学路を学校説明会で教えていただけると助かります。
- ・駐車場がもう少し多いと助かります。
- ・集団下校の際、最後までその班に子どもがきちんといるか確認してほしい。今年だけで2度もおいて行かれました。よろしくお願いします。
- ・登校の安全の確保をしっかりとしてほしい。
- ・グラウンドを整備し、ケガをさせないでほしい。
- ・あいさつがあまりできていない。返事ができない子もいます。

本市の「全国学力・学習状況調査の結果概要」について

標記につきまして、より多くの市民の皆様への周知を目的に、「学校だより」へ掲載するよう市教委より依頼（平成28年度より実施）がありました。

つきましては、下記に掲載いたしますので、ご覧くださいませようお願いいたします。

なお、本校の結果につきましては、学校だより（11号・9/1発行）で概略等をご報告させていただきました。ちなみに、本校6年生の平均正答率は、国語・算数は「秋田県を大きく上回る」、理科「秋田県を上回る」というすばらしい結果でありましたことを申し添えます。

令和4年度 本市の全国学力・学習状況調査結果

1 調査の概要

本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学習指導の改善を図る目的で、平成19年度から実施されています。全国の小学6年生と中学3年生が対象で、今年度は令和4年4月19日（火）に実施されました。

2 調査の内容

調査内容は、国語、算数・数学に加え、今年度は理科も実施され、3教科の調査となりました。学習習慣や生活習慣等に関する児童生徒質問紙調査は、昨年度より小学校、中学校とも同一の質問数、質問事項となりましたが、今年度はICT機器活用についての質問事項が増え、活用場面毎のICT機器の使用頻度等について問う内容となっています。また、各校の校長が回答する教育環境等に関する学校質問紙調査も実施されました。

3 秋田県と全国の比較（今年度も、県の平均正答率は整数値で発表されています）

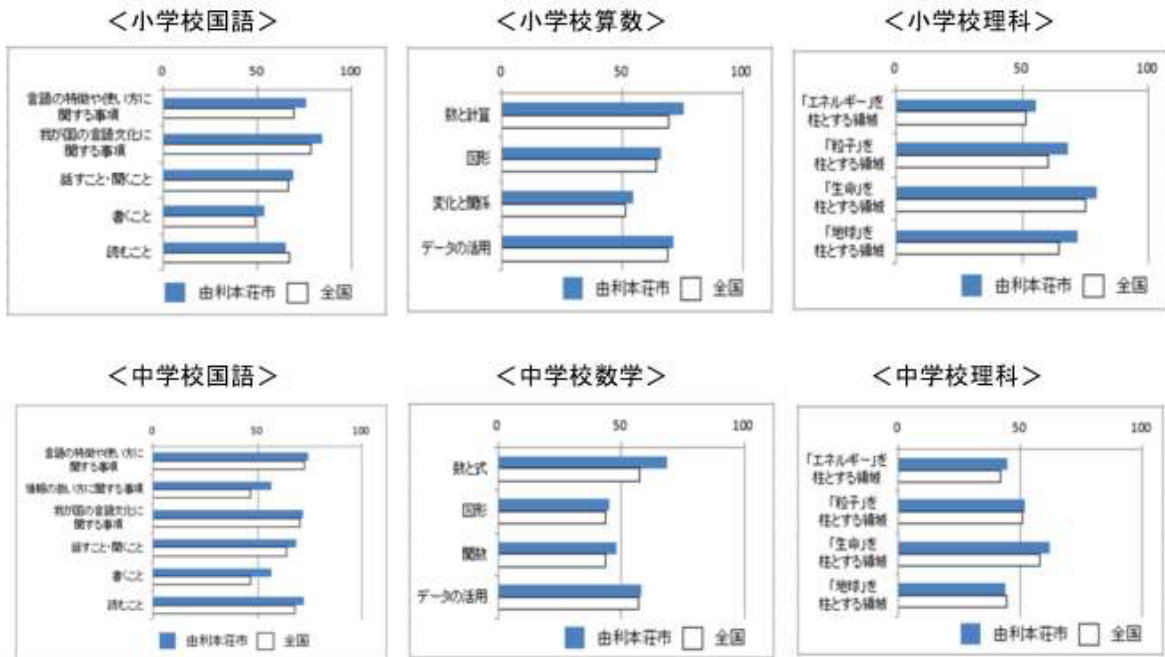
〈小学6年 平均正答率(%)〉

	国語	算数	理科
秋田県	71	66	71
全国	65.6	63.2	63.3

〈中学3年 平均正答率(%)〉

	国語	数学	理科
秋田県	73	54	52
全国	69.0	51.4	49.3

4 本市の結果について（授業改善に生かすため、領域ごとにグラフでの比較としています）



質問紙調査からは、「学習した内容について、分かった点や分からなかった点を見直し、次の学習につなげている」と回答している割合が高く、授業や家庭学習で振り返りが行われている様子がうかがえます。その一方で、小中とも放課後や週末に家でテレビや動画を視聴したり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている割合が高く、家庭での過ごし方を見直す機会を設定する必要があると思われます。